

妾の足をじろじろと見た挙句
こんなものを勃てるとは
よい度胸じゃのう

はっ

気づいておらぬとでも
思っておったのか？
無礼者め
これは仕置きじゃ

スーッ

んっ

しゃん

しゃん

しゃん

しゃん



ん？なんじゃぬるぬるしたものがいかに出てきておるではないか

まさか足蹴にされて悦んでおるのか？ふふっもつと強く踏んで欲しいぞ？顔をしておるぞ？

ふーッ

ふーッ

はあッ

ちゅッ

ちゅッ

ぬちゅッ

ちゅッ



なに、もう我慢が出来ぬ
果てそうじゃと？
はあ……

まだ少し
足裏で撫ぜただけ
じゃろうに
情けないのう……

はーッ

んッ

ふーッ

ぬ
ぢ
ぢ
ぢ

ぐ
ぢ
ぢ
ぢ

ぢ
ぢ
ぢ

ガ
ク

ず
ぢ
ぢ
ぢ

ガ
ク



な、なんじゃこの量は！
どれほど溜め込んでっ

こ、これっ
こっちに飛ばすでない！

ク
ク
ク

ク
ク
ク

ク
ク
ク



汝の穢らわしい子種で
妾の身体が
穢れてしまったではないか
痴れ者め

覚悟は出来ておろうな？
徹底的に妾の足裏で
踏みしだいてやるのじゃ



ん

ふーッ

ふーッ

はーッ

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ガク

ガク









